

令和 7 年度 第 3 回在宅医療・介護連携推進業務運営会議（議事録）

日 時 令和 7 年 9 月 24 日（水）13 時 30 分から 14 時 00 分まで
場 所 日本海総合病院 ミーティングルーム
出席者 第 3 回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿のとおり
議 事 以下のとおり

1 開会

2 報告

1) 研修会についての報告（在宅医療・介護連携支援室ポンテ）

第 1 回 医療と介護の合同研修会

➤ 【資料 1】のとおり報告された。

第 4 回医療サポート研修会

➤ 【資料 2】のとおり報告された。

第 5 回医療サポート研修会

➤ 【資料 3】のとおり報告された。

- 勤務調整の都合があるのもっと早く案内してほしい。
→現在 1 ヶ月半前には案内発信している。事業所内で速やかにスタッフ間に広報していただきたい。今後 2 ヶ月前の案内発信に努めていくが、あまり早すぎると忘れてしまい欠席者の増加も懸念されるため様子を見ながら研修会の案内をしていきたい
- 第 2 会場でも講師・司会の顔が見られるといい。
→次回からは演者も映るようセッティングする。
- 欠席の連絡が無い方が多くみられた。
→当日同事業所の方が口頭で知らせてくださる場合もあるが、グループワークの為にグルーピングしていることもあるため欠席の場合は事前連絡を周知してほしい。
- グループワークの際、周囲の声で話が聞き取りづらかった。
→急遽会場の変更となり、致し方なかった。ご理解いただきたい。
- 年間計画を年度初めに示してほしい。
→4 月のケアマネ総会で提供している。日にちと場所に関しては年間計画で提示するのは難しい。今後、年間予定表はホームページの活動報告のページに掲載する。
- 案内にグループワークありと明示してほしい。→1.5～2 か月前に案内を出す、その時点では、研修内容・方法は具体的に定まっておらず、資料が出来上がるのが早くて研修会の 10 日前である。その資料を基に打ち合わせをするためグループワークの有無を案

内に明示することは不可能である。グループワークも研修会における学習手法であることを理解していただきたい。

- グループワークの際の進行係を運営側であらかじめ明記してほしい。
→運営側では、参加していただく方の年齢やレディネスもわからないためできない。顔の見える関係構築の第1歩ともなりうるのでグループ内で決めていただきたい。

3 議事

1) 介護保険にかかわる医療・介護連携様式について（日本海総合病院 病院改革推進室）

- 診療情報提供書（老健用）と介護保険用診断書の検査項目について【資料】に沿って説明した。

基本的には、検査をしている項目のみで可であるが、施設によっては全て検査するよう求められ、患者・家族負担が増えている事例があった。

→日本海総合病院・日本海酒田リハビリテーション病院用の「介護保険関係書類の依頼および費用」の様式について、検査結果の流用期間に齟齬があったため、以下の理由にて「介護保険関係書類の依頼および費用」（案）に修正する。

- ・利用者負担軽減に配慮する⇒検査項目がある場合のみ記載
- ・施設入所に際し、どうしても必要な場合には患者、家族の同意を得る

<修正内容>

*既に実施済みの尿・血液検査は流用

*今日日 X-P・心電図検査は過去1年以内

*喀痰・咽頭・便検査、感染症検査に関しては過去に実施していれば記入

- 老健・特養各施設とすり合わせする場について
 - ・酒田市→ケアマネジャー連絡協議会、サービス事業者連絡協議会を通して共有する。
 - ・庄内町→介護保険係と相談して共有をはかる。
 - ・遊佐町→持ち帰り、係と共有する。

※ご意見、改善点があった場合、ポンテ会議で検討する。

2) 人的資源の地域での活用研修会について（在宅医療・介護連携支援室ポンテ）

- 今年度昨年度の2倍以上の申込をいただいている。その中には、講義形式の参加人数が少ない依頼や医療サポート研修会と全く同じテーマでの依頼がある。

講師派遣の為の費用等もあり、委託費の中での対応が難しくなっているため、講義形式の場合、20名以上の参加人数でお受けしたい。（ラウンドは少人数可。）

医療サポート研修会と同じ内容の場合は、今後オンデマンド開催も視野に入れて検討していきたい。

- 講演会・研修会をWEB配信によるデメリットについて
 - ・業務時間外の自分の時間で受講となる場合の学習効果と時間的拘束
 - ・主任介護支援専門員更新研修会の受講証明書発行の「法定外研修」として認められないのではないか→来年度までに詳細を調べつつ検討したい

4 その他

1) 医療・介護情報連携サービス Team について（日本海総合病院 病院改革推進室）

➤ 【資料】に沿って報告する。

(1) 事業所登録数…157 施設

(2) 患者登録者数…140 名

(3) 利用者獲得に向けた活動

(4) 今後の予定… ・次年度に向けた業者との打合せ

〈Team 活用について〉

・救急隊との連携（利用検討継続中）

・各医療機関、各事業所での活用支援

〈日本海総合病院〉

・入退院支援センターでの活用

・救命救急センターでの活用（救急受診後の連携など今後検討予定）

・専門看護等による活用（皮膚排泄ケア、心不全、認知症、救急など）

・来年度、事業所の費用負担が発生する見込みであるが、利用施設が減じると懸念している。

→費用対効果による。年間 5,000 円ならば利用するのではないか。ケアマネジャーのケアプランデータ連携システムは年間 20,000 円だが、費用がネックになり導入が進んでいない現状がある。（ケアマネ連協）

・酒田市で費用負担はできないのか。

→検討するが難しい。DX 事業関係の補助金など調査する。（酒田市）

2) 第2回 医療と介護の合同研修会（10/21）について

医療・介護情報連携サービス Team 導入し 10 か月になるが導入の現状と今後の課題と題してシンポジウムを開催予定である。（研修案内参照）

3) 日本海総合病院の電子カルテ更新により、11/22～24 は紙カルテ運用となり、時間を要する予定。

5 閉会

以上

第3回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿

(敬称省略)

所 属	氏 名
庄内町 保健福祉課 高齢者支援係	鶴巻 佳代子
遊佐町 健康福祉課 介護保険係	菅原 恵里
酒田市地域包括支援センター はくちょう	佐藤 由香利
酒田市ケアマネジャー連絡協議会（ラポールケアプランセンター）	吉田 幸徳
酒田市ケアマネジャー連絡協議会（居宅介護支援事業所はな）	渡部 由佳
酒田市 高齢者支援課 地域包括支援係	長沢 一貴
日本海総合病院 病院改革推進室	岡部 幸大
日本海総合病院 病院改革推進室	本間 真臣
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	佐藤 由枝
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	柏倉 由紀子